

西多摩医師会報

1986年1月1日

157号

発行所・社団法人 西多摩医師会

編集委員・村山 正昭

荒巻 武彦

小林 杏一

石井 好明

堀田 洋夫

東京都青梅市西分3-103

TEL.(0428)23-2171(代)

栗原 琢磨

渡辺 良友

年頭所感

年頭にあたり

西多摩医師会会長 瀬戸岡 進

新年あけましておめでとうございます。昨年中は西多摩医師会の様々な事業に御協力を賜わり、会員諸先生はじめ関係各位の皆様に対し心から御礼申し上げます。私達医師会の仕事は今更し上げるまでもなく、地域社会住民の生命と健康を守ることであります。この私達の任務を遂行するにあたり、いま幾多の障碍が立ちはだかっていることは御承知のとおりであります。

政府の医療費抑制政策は年々強化され、薬価基準の切り下げ、被保険者本人、老人医療費の自己負担増、保険診療の審査強化、医療費通知運動など確実に受診抑制が具体化されてきています。こうした事態を打開するためにも医師会を中心として全ての医師の結束が何より必要です。各地区医師会の協調と団結の力を地域住民と統合させ、国の医療政策を良い方向にもっていかなければなりません。

毎年開催され、しかも長い歴史のある「三多摩地区医師会懇親会」は多摩地区で医療活動を行なう医師の親睦と、まとまりを示す、ひとつの機会と考えられますが、昨年は私達西多摩医師会が当番でした。日本医師会羽田会長はじめ、東京都医師会代表、地区選出の国会議員、多数の会員の皆様の御協力により、二百名を超える参加者を得て、盛大に行なうことができました。また一昨年末、関係者の御努力で、都医傘下の地区医師会に先駆

けて、西多摩医師会で策定した「東京・西多摩地域医療計画-1984-」は「災害時医療救護計画」と共に各方面の反響を呼び、微力ながら私達の考えが徐々に理解されはじめ、地方自治体の医療行政の中に反映されつつあります。さらに、昨年夏の日航機事故に際して行なわれた群馬県医師会員の文字どおりの昼夜を分かたぬ献身的な救護活動は医師としての社会的使命を充分はたし、全国民の感動をよびおこしました。

こうした個々の医師会員の具体的な仕事を通して医師会の本当の姿を国民の間に浸透して行くことで医師と患者住民とのより深い信頼関係を維持できるものと信じます。

医療経済に視点を移して今年を展望して見ますと、4月には再び医療費改訂が行なわれようとしています。医療費ベースで1.5%の引き上げなどと言われていますが、薬価基準の切り下げが平行するため、差し引き実質0.8%の微増になるようです。また一方では厚生省による独断的な老人医療費の大幅な患者の一部負担増が画策されています。このような厳しい状況の中で、地域医療経営基盤安定の一助とするため、日本医師会は羽田会長を先頭に政府との懸念な折衝を重ね「社保診療報酬にかかる事業税の非課税措置」の存続が決定したことはよろこばしいことですが、情勢の変化によっては将来予断を許さないものがあるようです。

経済の問題ばかりでなく、日進月歩の医学の進歩を日常の医療活動の中に生かして行くための生

涯教育の問題も欠かすことはできません。

医学の研鑽、日々の診療、国民の為の医政を通じて、地域医療の充実と発展をはかり、日医、都医と一体となって、一步一步着実に前進して行かなければなりません。

幸いにして、私達西多摩医師会では、地域医療推進の為に各部、各委員会の活動が活発に行なわれ、住民との間にしっかりと足場を築いて来てい

います。これひとえに会員各位の日頃の御努力の賜物であり、心強い限りです。昨年に引き続き、本年も私達医師にとつて厳しい状況が待ち受けているようですが、会員の皆様と力を合わせて、困難な事態を切り開き、乗り越えて行かなければならないと考えます。

皆様の御協力をお願いしまして新年のご挨拶といたします。

新しい年を迎えて

副会長 江本 虎雄

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は公私ともに、ご心配をかけ本当にお世話になりました。皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

医療界では、昭和60年を厚生省主導の1年であったと、マスコミは批評しております。厚生省の医療費抑制の政策は一層強まってきております。

健保問題、老人保健問題、税制問題等、私達医療人にとって死活の問題が山積しております。

これらを打開するためには、会員1人1人が日本医師会を中心に団結し、国民の立場にたった医療政策を打ち出して行くことが重要であります。地区医師会から東京都医師会、日本医師会へ、下か

らの力を結集して押し上げて、日本医師会主導で進めて行かなければ、問題の解決はできないと思います。

この地区においては、西多摩地域医療計画を医師会主導で、西多摩の各市町村と実施して行くこと、病院と診療所の機能分化と連繫の問題、健診事業の問題、会員の生涯教育に関する事等が、本年度の重点的な事業となると思います。

米国では非営利病院の倒産急増という事態が起っております。日本でも医療機関の倒産の増加が報じられています。良心的医療機関を守るためにも、医師会としての取りくみが、重要な課題になってきたと考えます。

会長を中心に全会員の団結とご協力をお願いして挨拶といたします。

年頭にあたって

副会長 西村 邦康

新年おめでとうございます。

会員の諸先生方には、お健やかに御家族おそろいで、新しい年を迎えられたことを謹んでお慶び申し上げます。

昭和60年を振りかえり現在をみますと、我国は「不透明な時代」「海図なき時代」といわれた50年代のハードルを、いつにかクリアして現在は、国際化・情報化・ソフト化の時代といい、国策としてハイテクから、よりハイテクへと新しい成長を求めて産業構造の再編成が行われ企業も鎬を削っています。

医界も、脳死基準設定→臓器移植に象徴されるように、ハイテク利用の高度（高額）医療が脚光

を浴びています。それにひきかえ、80才時代到来の健康づくりの一翼を担った日常性の医療は、昨年の経済白書にみられるように、国民の負担という観点からみると、税の問題より年金と医療費の問題がより重大な問題であるという認識で、「財政錯覚」の名のもとに、福祉とともに抑制されています。この抑制政策は医療保険（医療費）の圧縮と、その手段として保健医療の拡充と強化が押し推められています。この保健医療は、行政のサービス化（ソフト化）の名目で医療の分野を侵蝕しはじめており、これは又最近の消費意識の変化にマッチして市民の共感を得て増々強化されています。その具体的事業として、昨年私が年頭に当面の課題として指摘した、胃検診事業と、その後5月に提起された保健所における健康増進事業とが昨年から新しい波としてひしひしと迫って来ま

した。これらの保健医療事業に対し、西多摩医師会は、保健医療における公的部門の役割（最少限の公的サービス）と民間医療サービス機構（医師会）の活用の原則を貫ぬいて対処しており、幸い、関係機関の理解を得て健康増進事業は7月から実施され、胃集検事業も目下実施細目に就いて折衝中です。また公的サービスの強化と云う面でも一つの課題であった羽村町準夜診療の問題も羽村町医師会の答申が町当局に提出され解決への道を歩んでいます。

ところで昨年家庭医問題がおきたとき厚生省病院管理研究所岩崎 栄課長は、次のごとく我々開業医を批判しました。

- 1) 患者の病院志向を植えつけたのは開業医自身……開業医の所へ行くと患者があふれている、そして待たされる。診療時間も短かくその上『大病院へ行きなさい』『公立病院へ行ったらよいでしょう』と紹介状も書かずと言下にいわれる……十数年もそういう体制が続いていた。

- 2) 開業医が診断や治療にかまけて社会に目を向けず、言葉だけ地域医療といい、実際に地域医療を果していなかった、“待つ医療”→“出る医療”への転換が遅れた。
- 3) 医療の質への転換（医療の質の向上）が進まず国民のニーズに応えられない。
- 4) 若い医師も病院志向で開業医の高令化が進み第一線医療は崩壊する。……

以上の批判に対する反批判は厳しくすべきであるが、それは別として、医療法の改正をふまえ我々は、保健医療への対処・学校保健・生涯教育・在宅ケアシステム・等々地域医療の各論に地域の中に入り関係者と共に積極的にとりくんでいくことが必要であります。

都区内とは違い医師開業環境に比較的ゆとりのある西多摩、又開業医平均年齢50才後半の我々は、正月は冥土の旅の一里塚……と枯れた気持ではなく21世紀を目指して頑張らなければと思います。

京都。雪の山陰

総務、経理、保険担当 大塚 渉

我が敬愛する隣の街のK先生は、盆と正月の休暇には、何時も家族づれで都心のホテルで過ごされるのだそうだ。

少々年上の私なのだが、気が若い為か（多分、精神的に未成熟）何故か、一ヶ所に落ち着かず、あっちこっちとろつき廻るタイプである。決して楽しいとは云えない毎日の診療の中で「旅への渴望」は、人一倍強い方だ。交通の便の良さもさることながら、京都へ行く人は多い。私もその一人なのだが、一昨年は職員旅行を含めると三回、昨年は二回と結構巻きもせず通っている。

この暮には一度は観たいと願っていた「祇園さん」の「おけら詣り」へと出掛けて見た。もの本によれば「おけら」は、薬草で、それを乾燥して粉にし、その粉の上で「おけら木」を焚くのである。その浄火は万病をはらうのだそうだ。大晦日の零時近く、河原町通りのホテルを出発。すでに四条通りは、人、人の洪水である。八坂神社の石段はあまりの混雑に恐怖すら覚える。我が労作

性呼吸困難も雲散霧消するのだからと、やっとの思いで境内に登り、吉兆縄を買い求め、その大縄に火を移し、童子のようにくるくる廻しながら帰途についたのだが、我が動悸は一向に収まりそうになかった。

明けて元日はゆっくりと起床。京都駅で好物の駅弁を買い求め、10時近く、鳥取へ向けて特急に乗り込む。山陰地方へは、すでに城崎、松江、萩、津和野と廻っているのだが、何故か鳥取だけには行っていない。京都を出て三時間位か城崎は、もう雪であった。最近「わかとり」国体が行われた鳥取駅前には、立派なホテルやデパートが建ち、街並も整備されていた。

田舎者の私故、ホテル志向なのだが、こゝでは和風旅館を選んでみた。K屋という。20年前、天皇陛下が泊られた宿だそうだ。少々古めかしいが、庭園が見事だった。今迄それ程好物だと思わなかったのだが、さすが本場の松葉蟹だと堪能した。

翌朝は、早起きして雪の中、三朝温泉発の観光バスに乗る。1月の日本海は、荒波が押し寄せ、激しい風に雪が狂ったように舞い、そして暗い。しかし、あの怒濤は、何故か男心を揺さぶるもの

(4)

があった。白兎海岸を通過、あこがれの鳥取砂丘に出る。東西16K、南北2K。雪におゝわれた砂丘は、想像以上に壮大で、男性的ですらあった。白兎海岸の道すがら、愛くるしいガイドさんが、例の大黒様の話を持ち出した。あの肩にかけた袋の中には、人が生きて行く為に大事な五つの物が入っているのだという。「胃袋」と「おふくろ」と「堪忍袋」と「智恵袋」そして「給料袋」だそう。

扱て、新しい年になって、新聞、雑誌等によれば、日本医師会は、生涯教育委員会を設け、61年

度の1年間に亘る試行期間を経て、62年度より、本格的な自己申告制による生涯教育制度をスタートさせる事を決定したという。更に昨年より討議されている胃集検問題もいよいよ始まる。

大黒様の話ではないけれど、我々も、体を鍛え、堪え忍び、老骨にむち打って、新しい学問にも耳傾けなければならない。正直きつい話だが、この事は生涯教育委員会の目的でもある通り医師としての社会に対する責務でもあり、最近喧伝されている医師過剰時代に生き残る道でもあろう。

三多摩地区医師会懇親会開催さる

60. 11. 16 京王プラザ・エミネンスホール

司会 大塚 渉 西多摩医師会理事

中村 武 同



壇上の来賓各位

開会の辞 江本 虎雄 西多摩医師会副会長
当番会長挨拶(要旨)

瀬戸岡 進 西多摩医師会長

本日は200名もの三多摩医師会員の先生方にご参集いただき盛大なる懇親会を開催できましたことを当番医師会を代表して心からお礼申し上げます。ことに羽田日医会長はじめ来賓の皆様にはご出席を賜り錦上花をそえることができましたことを有難く思っております。

いつ明るさをとり戻すのか、現在の厳しい状況におきまして、さしあたりの重要課題としては、診療報酬非課税措置の撤廃、老健法の改悪による



挨拶する羽田日医会長

自己負担の増大であります。どちらも日医をはじめ各医師会ごぞってこれに反対の態度をとらなければならないと思います。

10月5日の関東甲信越ブロック協議会においても、この二件について反対の決議文が採択されております。またその席で8月の日航ジャンボ機の墜落に際して地元の群馬医師会の先生方には朝早くから真夜中まで、高温の室内で身元確認にともなう遺体検案に黙々と社会的使命を果され、この我々の同僚である先生方の活動に深い感動を覚えたのであります。

さて最近の科学技術の進歩は遺伝子の組み換え

という事を可能にしております。また体外受精とか脳死の問題まで複雑な状況に立入っております。これが我々にとって最も大切な生命の尊厳および倫理の問題について、その概念を変えようとしている状況ではないかと考えております。

現在、三多摩医師会会員数は2,715名だそうで、何かのご縁、何かの巡り合わせでこの三多摩の地に住み、345万人の住民の地域医療のため活躍されております。年1回の集りに旧交を暖めつゝ、肩を叩きあいながらこの難関を乗り越えていきたいと思っております。

このような会合が末長く続くことを願いつつ開会のご挨拶と致します。



挨拶に立つ瀬戸岡会長

来賓挨拶（要旨）

羽田 春兔 日本医師会長

本日は伝統ある三多摩医師会懇親会にお招きいただきまして光栄に存じます。かつてこの懇談会の席上で日医選挙に出ると約束させられた経緯があり、昨年はこの会に出席できず、今年は瀬戸岡西多摩医師会長にどうしても出席しろと云われておりましたので、関東ブロック会と重なっておりましたが、こちらの会に出席したわけでございます。

まず申し上げたい事は、厳しい環境のもとでどういう道を切り開いていくかということでございます。

これはただ政治力の強化以外にはないと考えます。本日まで出席の石川、小沢、大浜先生をはじめとする多数の方がおられますが、当地区においては特に石川、小沢両先生を心から支援しなければならぬと思っております。

すべての事について地元でご理解をいただいてから国会に出させていただくことが大事でございます。

国会の場では大変お忙しいのでお話ししても頭に入らない恐れもあるわけです。地元でじっくりおやりになると選挙に響くわけで余計真剣に聞いて下さる。地元の会員が有力な先生を握って働いていただくことを原則としていただきたいと思います。また敬愛する大浜君はこういう気性ですから、卒直に社労においても、国会においても、やっつけ下さいます。ことに社労においては理事を務めておられるので非常に重要な役割をしておられるわけです。

さらに我々の戦力の補強という意味で来年の参院比例代表制では宮崎君を推しております。彼は新人で若い、ハリキリボーイで熱血漢ですから我我の意図するところを簡明に卒直に主張できる人物でございます。

自民党員数が物をいう現在、32万票を上まわる党員数を獲得できたことは全国の会員の一致協力による成果であります。これがどんな所に影響しているかご存知だと思いますが、野党の側にも影響している。いずれにしても危機を感じる我我がやらねばならないことは政治力の強化だということをお願いしたいと思います。

事業税の問題などは石川、小沢先生にはとくとお願いしてあるところでございますが、自治省あたりは財源の補填をこちらに求めておる。全国知事会の代表が9月4日、中曽根総理に面会を求め、事業税の非課税徴廃をすることで500億浮くのでこれを是非ということでありましたので、事前にこれを察知して中曽根総理にお話しし、言質を与えるような答弁にはなっておりません。

我々が事業税をとられることがいかに不合理であるか、理を尽してお話ししてもまだ不透明であるので、折りに触れて申し上げなければならない。とくに診療報酬が10%源泉徴収されているということは、サラリーの支給と同じであると意味づけしております。源泉徴収をうけていることは、事業税の対象にならないはずであります。

老健法につきましては、厚生省の原案はいかにも理不尽、この事については日本の復興に対して功績のあったお年寄りに報いるすべとしてはおかしいもので納得がいけない。来年の選挙をひかえてこういう事をやっているのはダメだと自民党にはよく解っているはずですよ。

これからやるべき事として、国際化の問題があ

ります。我々の社会が国際化の渦のなかで従来の開業医制ではすまなくなると考えます。現在、医療法の一部改正を国会で取り上げておりますが、第一段階として官僚の統制をはずした内容を開陳して政府に確認させているところであり、それを社労でやっております。この国際化のなかで医療法の改正は重要な役割をすることは賢明な皆様はわかりになる事と思えます。

それと同時に池田内閣以来、日本は経済を最優先に取ってまいりました。そこで失われたものは何か、国民の心、精神的な面だと考えます。今や日本は経済大国となりましたが、心の問題を我々の生活のなかに取り入れないと国全体がだめになると考えます。

次に診療報酬の問題は、政府は医療費抑制策をとってふやそうといたしません。しかし人事院勧告が出まして医療従事者の給与をひき上げなければならぬ。これは医療費を抑制して出さないと、我々はどうしてもやらなければならない仕事であり、それを可能にするのが自民党の仕事である。また責任ある官僚のやる仕事であると考えます。

我国の医療の80%以上を民間の医療が支えています。これの経営の安定を考えますなら、サラリーの考えだけで診療報酬を改訂するのは間違いであります。

そのような動きを起こすために先般薬価調査を拒否いたしました。拒否している間にやり取りして大方の理解を得たと私は判断し、薬価調査に応ずることを決心致しました。国は貧乏ですから高度成長期のような2ケタの数字は出ません。1ケタでありましょう。実際にプラスになるよう主張しておきました。

皆様方には、どうしても政治に関心をもって、力を養わないと、我々の体制は崩れていくであろう、外国の力、国内の企業の力、我々の勉強不足から崩れていくであろう、という事をとくとお考えいただきたいと思えます。これで私のご挨拶といたします。

後藤 秀倫 東京都医師会副会長
(松永会長代理)

本日、関東甲信越ブロック会がありますため、松永会長はそちらに出席されております。只今、羽田会長から日医レベルでの傾聴すべきお話しが

ありました。

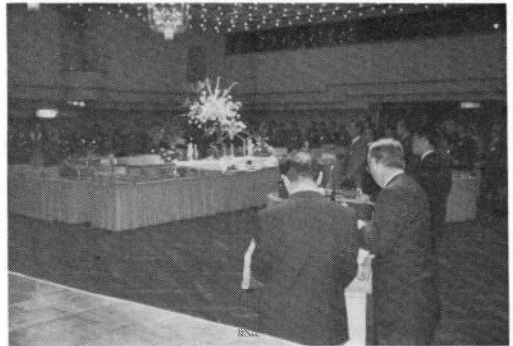
東京都の鈴木都政は長期構想懇談会をつくり、松永会長も懇われて参加しております。現在すでに東京湾横断道路、コンビナートなどいくつかのプロジェクトが進んでおり、このような変貌が三多摩においてどう進んでいくか、石川先生はじめ充分お考えのことと思えます。

先程の瀬戸岡会長のお話しにもありましたように、武蔵野の伝統を守り育て、文化の都市とするか、あるいは工業都市とするか、これはやはり長期構想懇談会の役割りの一つであろうかと考えるわけであります。それにいかに対処していくか、我々の地域医療計画を立てこれからの三多摩の構想を考えるため、都医では各地域の医療計画を直ちに検討することをお願いしております。

現在、情報収集委員会をつくり将来への予備的段階にあります。その中核的メンバーは三多摩から出ておられることは皆様ご存知の通りであります。さらに会館を建設してフルに稼働させるつもりであり、それには先生方にお世話をお願いしなければなりません。成る可く少い経費をもって高い成果を上げるために、各方面と折衝中で5年位の見当で進める予定であります。

また都医の抱える大きな問題は地域医療構想であり、勤務医対策であります。未加入会員が多くなるという事態は許すことができません。これを放置することは、日医、都医の責任でもあります。一方では勤務医自身にもお考えいただかなければならない問題であろうと思えます。

将来は会員、非会員の別なく一丸となって国民の健康のために厚生省と手を握り、マスコミを抱きよせて国民の健康のために邁進したいと考えます。



会 場 風 景

石川 要三 衆議院議員

本日は懇親会にお招きいただき有難うございました。三多摩地区は都の面積の $\frac{1}{3}$ 、人口340万、県にすると11番目、静岡県につぐ規模になっております。この大きな地域で皆様が地域医療に貢献されていることに心から敬意を表する所でございます。

ご承知のように立川に国立公園を作っておりますが、あの一角に劇場、あるいはオペラ・ハウスをといた計画もあります。建設省も考えているようですが、三多摩は文化が低いから構想が固まらないと申しておりました。だから三多摩は静岡の次で、県並であると少し大きな声で陳情しておきました。

よくいわれる三多摩格差のなかで文化的恩恵と医療が遅れているのではないかと、それをカバーしているのが先生方である。先程、羽田先生が政治力の強化を強調されましたがその通りであります。医療行政は大変難かしいので、日頃から友情を通じて医療を勉強させてもらいたい。それが将来の先生方にとって役立つのではないかと、大浜先生のような専門家がおりますので私も知識をもって先生について行きたいと思っています。

そして宮崎先生に始めてお目にかかり、先生は全国区を無派閥でやるそうですが自民党にも派閥の功罪がありますから、その弊害を薄めるために無派閥でやることは大変すばらしいことだと思います。そして全国区のランキングのトップの方で当選されるよう羽田会長はじめ先生方のご努力をいただいているようであり有難いことと思っております。話しが長くなるといけませんのでこの辺で失礼させていただきます。

小沢 潔 衆議院議員

本日はご招待いただき無上の光栄でございます。今や日本は三拍子揃い、世界に君臨する程になりました。その一つが経済であり、教育であり、長寿国世界一であろうと思います。その礎をきずいて下さったのが本日お集りの先生方であろうと考えます。ことに医療行政の面で格別のご支援を賜わっていることに、最高の敬意と感謝をささげたいと存じます。

私も中学の同級生に医者が多く、いつも問題があれば動かされており、何といても事業税、税制面は小沢 潔しっかりやれとお叱りをうけてお

ります。三多摩においても医師過剰時代をむかえて、医科大学の造設はまかりならぬとの意をふまえて、これからも微力ではありますが頑張りますので、ご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

大浜 方栄 参議院議員

本日瀬戸岡会長さんにお招きいただき皆様にお話しできる機会を得たことを心から光栄に存じます。

医療界は大きく変わりつつあります。最近40日間欧米を廻ってまいりましたが、先進諸国とも医療費抑制策をとっており社会保障の理念と範囲が変わるのではないかと思うくらい変わりつつあります。一部負担のない国はどこにもありません。このような医療費抑制策のなかでも欧米の医師は医療は聖職であると自覚しておりました。

私は、日本でも医療費抑制策がとられていても日本の医療は世界一よいと、社会保障の経済的限界が先進国のなかで最も余裕のある国である、GNP比18~20%で一番低いと、国家財政のなかの社会保障の給費率も20%と一番低い、欧米諸国のレベルに達するまでに15年あると。世界の経済の1割を背負っている日本といわれるけれど、この15年のうちに社会保障の日本といわれるような見本を世界に示すべきであると考えております。

きびしい状況にありますけれども、私はかえってよい条件ではないかと考えております。この機会を捉えて世界に向けて、社会保障、医療保障とはこういうものであると模範を示す時期であると、そのためには云うべきことは云う、抵抗すべきときは抵抗するということが大事であると考えます。

そのためには力がなければならぬ、力は最高の道徳であります。そのためには代議士の先生方を応援することが現実の問題です。自民党のなかで医師会に対する風当りは強うございます。その時に我々の力とは何か、それは医師会が抵抗する時は現職の方でも落ちる、そのかわり応援するときは楽勝するこれが現実です。

我々としては3つの目標を立て、第一に生涯教育、地域医療、医政この3つでありますから、今この医政に最も力を入れなければならない時であります。是非選挙活動をやりたいと思っております。

本当の事を申し上げておりますが、日医の大きい仕事は医療であり、事業税であり、老健法であ

(8)

りまして、そのなかでも事業税が最も厳しい。私も羽田会長と緊密な連絡をとりながら一生懸命やっています。どうぞ皆様の御援助をお願い致します。

宮崎 秀樹 参議院比例代表候補

本日は三多摩医師懇親会がかくも盛大に開催されましたことをお喜び申し上げます。6月に日医連の推薦を受けましてから全国をふた廻りしてまいりました。このようななかで私が統一候補となりましたことは、その責任の重大さに身の引締る思いがしております。

今後、私は現場の声を反映すべく皆様のお力によって国会に出してもらえたら、大浜先生と一致協力して皆様の手となり足となり代弁者として頑張ることをお誓い申し上げます

小松 真 東京都医師会理事

羽田会長が申されましたように医療法の改正で医療計画が推進されますと、これは非常に大きな問題でありますので日夜苦心惨憺しているわけがあります。羽田会長は官僚に支配される項目ははずしたとおっしゃいますが、一方これは医師会側の責任が大きくなると受止めなければならないと思います。それを踏まえて都の地域医療計画の全般について先生方のご協力を得たいと存じます。

この会は三多摩地区の懇親を目的としたものでございますが、かつては三多摩格差を話題として40年代はかなり議論したものでございます。当時は三多摩医師会連合といった話しも出たかと思いますが、先生方のご努力により三多摩の医療は日本の医療をリードするまでに育ったと判断しております。

各地で各様の地域医療が推進され全国的にもモデルとなり、23区を越えたのではないかと考えております。ますます三多摩の医療のため、また日本の医療のために、医療のルネッサンスは三多摩からという合言葉とともに皆様と頑張りたいと存じます。なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

次期当番会長挨拶(要旨)

小原 正夫 町田市医師会長

来年度の当番幹事といたしましてご挨拶申し上げます。

振り返りますと町田医師会が47年3月南多摩医師会より独立し、しばらくして三多摩医師会懇親会

を町田市医師会館でおこないましたことを昨日のように思い出しております。三多摩医師会が11の医師会として発展し、都医の重きを成すブロックとして育っているわけであります。

61年11月22日(土)にこの京王プラザ・ホテルで開催することになりましたので来年度もご出席を賜りますよう切にお願い致します。私事でありますが、来年は出席できないようであり、44年から医政にかかわってまいりましたが、ただひたすら地区医師会のために働いてまいりました。その間、羽田会長はじめ歴代の執行部の方々にご厚誼を賜り感謝しております。

来年は気持ちよくお迎えできるよう準備を整えているところでございます。よろしく願い申し上げます。

乾杯 小木曾 学 東京都医師会監事
開宴 ジャズ・ボーカル
笈田 敏夫
森 ハナエ



ジャズ・ボーカルの森 ハナエさん
閉会の辞 西村 邦康 西多摩医師会副会長

あとがきにかえて

さる11月に開催された三多摩懇親会については、その内容をどう取り扱うかを検討しました。会合の雰囲気伝えるために挨拶の略全文を、その内容はともかく演者の口調で書いたつもりです。〇〇先生を励ます会ではないですが、これも我々にとって大切な医政に関することであり、政治力の強化を単に政党支持の問題でなく、開業医療の変革を目指した方法論として考え直すべきと思います。

(村山)

各部より

西多摩医師会産業医部
高木 直西医学会員に対するアンケート調査結果及産
業医部名簿更新及3者協議会報告について

昨年9月西多摩医師会々員全員に対して行いましたアンケート調査の結果、旧名簿の内容に変更を生じたのでここに改訂しお知らせ致します。

全体として、総数において大なる変化はみられませんでしたが、即ち新入会員の数と、産業医（又は嘱託）業務を廃止された方とは同数位の結果となっています。

また、西多摩方式による事業所との契約を行っている方が10名で全体の30%となり、これは59年9月の調査とは同様であります。

会員の諸先生方には色々相手の事業所との長い間の慣例も定着しており、中々統一化を望むのは困難と思われます。

次に去る12月19日労働基準監督署幹部及び労働基準協会幹部及び産業医部役員（高木・塩沢・森各理事）との3者連絡協議会が開催されました。今回から、労働基準協会の衛生部会々長の日本セメント西多摩工場長長町和夫氏も加わり一層この会も盛り上ってまいりました。

◎協議会の要旨

医師会側の発言：当医師会の中で学術部を中心として一般大衆向け、又は企業向けに関心のあるテーマで講演会を開くようにしているのでそのPRをお願いしたい。去る9月にメンタルヘルスの問題をとり上げたがPR不足で80名位の参加者しか得られなかった。また産業医としての活動は事業主との信頼関係に立つてこそはじめて円滑に進行するのであって、上からのおしつけや規制を真つ

向からもつてきては長続きしないし、充実した成果は上げられぬであろう。又目のとゞかぬさゝいな点にも適宜気配りをして事業所側の理解と協力を得てこそはじめて健全な保健活動が進むものとする。

労監側の発言：管内に約220個所の産業医を選出すべき事業所があるがその約半数しか産業医選出内容の実体を把握していない。今後産業医だけでなく衛生管理者等、直接企業の衛生活動にたずさわる者の把握も積極的に行っていきたい。また大分健診の施行状況が盛んになってきたが、その健診内容をみるといくつかの事業所ではその従業員の受診者数が総数に比し少ないと思われる例や、特殊健診の項目に漏れがみられる場合があるので注意して戴きたい。また西多摩管内ではまだ有機溶剤関係や振動病、じん肺が多くみられる。企業内の衛生活動を考える場合医師側、事業主側に加えて労働組合の意向も充分理解した上での対応が大切であると思う。

労働基準協会（事業者側）の発言：最近従業員の平均年齢が高令化しつつあり、何らかの形でゞ全員が健康に関し不安を感じており、いきおい健診に力を入れる意向はある。一般健診は業種別の健保組合で一括行っているのが多い。また单身赴任者が多くなつてきており、これらの年齢も若年層にも及んでいるので、個人的な健康管理にも苦慮している。

以上

西多摩医師会産業医（嘱託医含）名簿

（昭和60年9月現在）

社団法人 西多摩医師会

東部地区

会員名	病 医 院 名	診療科目	郵便番号	住 所	電 話 番 号
森 和胤	森 整形外科医院	整	197	福生市加美平1-5-5	0425(52)5311
松原 貞一	松原 内科医院	内・小	190-11	羽村町羽東1-16-3	0425(54)2427

会員名	病 医 院 名	診 療 科 目	郵便番号	住 所	電 話 番 号
佐藤 守雄	西多摩病院	内・呼・放	190-11	羽村町川崎 721	0425(54)0838
宮川 栄次	大 聖 病 院	外・産	197	福生市福生 871	0425(51)1311
塩沢 永康	塩 沢 医 院	外・皮・内	190-11	羽村町神明台1-35-4	0425(54)7370
高水 武夫	高 水 医 院	内・外・ 産・小	190-12	瑞穂町箱根ヶ崎 282	0425(57)0028
堤 次雄	堤 医 院	外・内・皮	190-11	羽村町五の神4-8-8	0425(54)2418
中村 武	中 村 医 院	内・外・整	197	福生市熊川 428	0425(52)1031
楠本 春彦	目白第二病院	内・外・整	197	福生市福生1980	0425(53)3511
米谷 豊光	米谷内科医院	内	197	福生市志茂 156	0425(51)0143
波田野洋夫	長岡診療所	内・外 耳鼻咽	190-12	瑞穂町長岡下師岡 207	0425(57)2637
大久保憲二	福 生 病 院	内	197	福生市加美平1-6-1	0425(51)1111
安富 一夫	江 藤 病 院	内・小	197	福生市熊川 154	0425(53)3001
小林 康光	石 畑 診 療 所	外・胃・皮	190-12	瑞穂町石畑 207	0425(57)0072
福島 大寿	羽 村 診 療 所	外・整・内	190-11	羽村町羽東2-1-15	0425(54)5330

南部地区

会員名	病 医 院 名	診 療 科 目	郵便番号	住 所	電 話 番 号
今川 武	今 川 医 院	内・外・皮	190-01	五日市町留原 395	0425(96)0069
栗原 琢磨	栗原内科整形外科	内・整	190-01	五日市町五日市1-6	0425(96)0389
島崎 省吾	島 崎 診 療 所	内・外	190-01	日の出町大久野1675	0425(97)0708
清水章三郎	清 水 外 科	外	197	秋川市二宮1011	0425(58)5850
鈴木 修	鈴 木 内 科	内	190-01	五日市町館谷 156	0425(96)2307
菱山 正治	菱 山 医 院	小・内	197	秋川市二宮2269	0425(58)0269
平林 信隆	平 林 医 院	内・神	197	秋川市草花2772	0425(58)7127
湯川 文明	湯 川 医 院	内・外・胃	190-01	日の出町平井2181	0425(97)3525

西部地区

会員名	病 医 院 名	診 療 科 目	郵便番号	住 所	電 話 番 号
大河原 周	大 河 原 医 院	内	198	青梅市青梅 252	0428(22)2047
大嶋 大知	奥多摩病院	外・内・整	198-02	奥多摩町氷川1111	0428(83)2145
高木直二郎	高 木 医 院	内	198	青梅市青梅 282	0428(22)2672
土田 守一	土 田 医 院	内・外・整	198	青梅市根ヶ布 2-1370-37	0428(23)3028
速水 完一	梅 郷 診 療 所	内・外	198	青梅市梅郷3-755-1	0428(76)0112
江本 虎雄	東京海道病院	精・神・内	190-01	(自宅) 羽村町羽西3-9-33	0425(55)3206
川辺 隆道	川 辺 医 院	内・外	198-02	奥多摩町氷川 177	0428(83)2136
市原 靖	聖明園市原診療所	内	198	青梅市根ヶ布2-722	0428(24)2800
平岡 克彦	青 梅 医 院	内	198	青梅市青梅 241	0428(22)2043
高木 直	高 木 病 院	内・整	198	青梅市新町 155	0428(31)5255
三田 哲夫	三 田 眼 科	眼	198	青梅市長洲 1-52	0428(24)1345

学術講演会

小児の外科的救急疾患について
特に小児期の急性腹症

60. 11. 29

杏林大学小児外科講師

伊藤 泰雄先生

小児期の急性腹症として、比較的頻度の高い疾患につき、症例とレ線像等を提示しながら、診断と治療の問題点について解説がなされた。

1) 腸重積症

好発年齢は半年から1才半。本症特有の臨床像として、いつもとちがった不機嫌さ、間歇的腹痛、嘔吐、血便等があり、触診上、上腹部に腫瘤を認める。腹部単純レ線像で、小腸ガス像を認める。発症後24時間以内なら、確定診断を兼ねて、注腸透視下に、非観血的整復を試みる。整復不可の場合は外科手術の対象となる。

2) 鼠径ヘルニア(嵌頓)

鼠径部腫脹の既往を確かめ、触診上、Silk sign、精索の肥厚より診断する。嵌頓の場合は、リンパ節、睪丸炎、副睪丸炎、陰のう及び精系水腫、Nuck水腫、睪丸捻転症との鑑別が必要。

3) 急性虫垂炎及び鑑別疾患

6才以下は頻度も少なく、早期診断が困難で、穿孔例が多い。触診では筋性防禦(*defense musculaire*)の有無が最も重要である。腹部単純レ線像では、Sentinel loop、大腰筋像の消失、flank stripe(*para colic gutter*)の拡大、

肝下端のほけ、*dog's year sign*、脊柱側彎、糞石陰影等がみられる。鑑別を要する疾患としては、胃腸炎、自家中毒症、血管性紫斑病、尿管結石症、卵巣のう腫、胆のう捻転症、胃十二指腸潰瘍穿孔、メッケル憩室、SMA症候群、胃捻転症等がある。

4) 消化管異物

年齢は2~3才がピークであり、年長児には自殺企図によるものもみられる。異物としては、電池、硬貨、ヘアピン、パチンコ玉、安全ピン、針等が多い。自然排出されることも多いが、食道内に停滞している場合は、摘出するか胃内へ落とす必要がある。この際、バルーンカテーテルが用いられる。胃内異物の場合は、磁石によるつりあげ、内視鏡的摘出法があるが、金属の場合は磁石が有効であり、アルカリ電池にも用いられる。手術は、腸閉塞、腹膜炎、長期停滞時に適応となる。

5) 腹部外傷

最近はなるべく保存的に経過をみるようになった。

(文責 湯川文朗)

西多摩医師会麻雀部 新春麻雀大会

1月15日、医師会館において行なわれた。結果は、優賞が今川先生、準優賞が江本先生でした。次回は、「我こそ優賞」と思われる多数の先生方の出席を希望します。

私のいただいた「モチモチ袋」も家族に好評でした。賞品選びに御苦労された清水先生に感謝致します。

(小林 杏一)



新春麻雀大会

文 芸

「丙寅歳辞」 小泉新策

丙寅しんの新たなる歳を 迎えたり
 健かにして 身気充實しあり
 いつしかに 八十路を迎え 若水を
 汲みて 宇宙の雄大に 感謝す
 賀状の数 五百餘りを いただけり
 尚ほ 交誼あつきに 心あたたまる
 年ごとに 喪状の数も 増すばかり
 友の消え行く 姿 寂しき
 ゆきゆきて 帰ることなき 人生路
 静かなる 良し 逞しくあれと
 今年は 彗星年と 賑々し
 異変なきやと 史實調ぶる
 政界も 特に 医界は 騒々し
 統廃合や 改革 多からん
 新年度 事業税が 待ち受けん
 医も 完全に 企業との見解

診療報酬明細書返戻状況

10月分

返 戻 理 由	医科（乙表）件数			
	青 梅	福 生	秋 川	西多摩
1 保険者番号、記号・番号、公費負担者番号、市町村番号、受給者番号の不備又は保険者番号と記号の不一致	17	7	5	25
2 旧証の記号・番号	2	1	0	1
3 患者名、生年又は生年月のもれ	1	0	0	1
4 傷病名のもれ	1	1	0	0
5 診療月分、診療開始日、診療実日数、転帰のもれ	7	0	0	2
6 診察料（初診、再診、往診又は時間外等の表示）のもれ	0	0	0	6
7 診療月と診療開始日及び初診料の不一致	7	0	1	2
8 診療月と診察回数又ね処方回数の不一致	1	5	2	13
9 投薬・注射（薬名、規格単位、用量、回数）の不備	1	1	0	3
10 処置・手術・検査・X線（薬名、回数、内訳）の不備	2	0	0	7
11 入院料の不備	0	0	0	1
12 点数欄記入もれ又は点数算出根拠不明	1	1	3	0
13 契約外（国保、国鉄、公費等）	0	2	1	2
14 症状詳記（診療内容及び方針の説明等付せん参照）	5	1	0	0
15 医療機関（薬局）の申し出によるもの	2	1	0	1
16 その他	3	8	0	2
計	50	28	12	66

医師会日誌

医療機関数 153 病院 24
 診療所 129
 会員数 264 A会員 139
 B " 125

会議

- 1月9日 読売新聞社との打合せ会
- 10日 胃検診委員会幹事会
- 14日 総務会
- 17日 福祉部委員会
- 18日 胃集検打合せ会
- 20日 会報委員会
- 21日 西多摩学校保健連絡協議会
- 22日 定例理事会
- 29日 学術委員会

講演会・その他

- 1月9日 整備会
- 15日 西医麻雀大会
- 18日 新年会
- 21日 生保指導
- 22日 税務講習会

役員出張

- 1月13日 S60年度第1回多摩地区四者連絡協議会
- 17日 都医会長会
- " 三多摩会長会
- 18日 「小原正夫先生を励ます会」
- 23日 老人保健政悪反対全国医師大会
- 29日 春松会
- 31日 夜間診療実施対策協議会

会員通知

- 会費領収書
- 年末年始会館休館のお知らせ
- 都医学術講演会開催
- 年末年始における休日準夜、夜間診療当番医療施設の変更について
- 医師等の資格確認について
- 60年度第2回看護婦卒後教育講習会開催について
- 「都成人病検診管理指導協議会」講演会
- 会報
- 61年賀詞交換会
- 青梅市立総合病院宿日直表
- 青梅市立総合病院CPC
- 税務講習会開催

同好会だより

**第123回西医ゴルフ大会
 兼第50回西医ゴルフ研修会**

昭60年12月22日(日)
 狭山G. C.

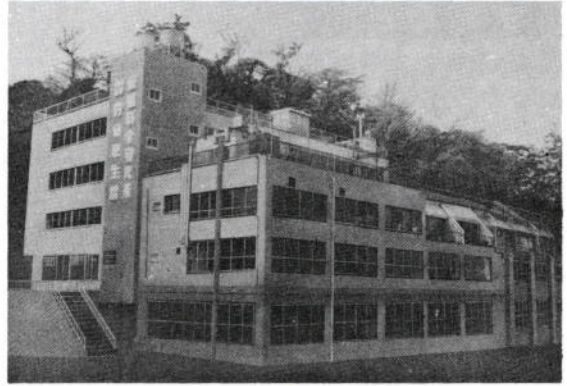
今回は寒さが厳しかった為か、スコアを乱す人が多く、特に最初のハーフは40台が一人もいないという全く信じられない展開でした。この中で、唯一人アンダーパーをマークした大嶽繁子氏が堂々の優勝でした。

毎度の事ながらコース確保に御尽力下さいました高水先生、有難とうございました。また合同開催を心よく御承諾下さいました江本部長にも感謝致します。(足立)

	西	東	G	HD	N	
大嶽(繁)	50	48	98	28	70	優勝
高水(武)	50	43	93	20	73	準優勝
小野	62	53	115	36	79	3
林	51	43	94	8	82	4
足立	53	44	97	15	82	5
大嶽(栄)	50	44	94	11	83	6
内山(淳)	56	59	115	30	85	7
松原	61	45	106	21	85	8
鈴木	54	45	99	13	86	9
内山(大)	52	54	106	15	91	10
川崎	65	53	118	27	91	11
小林	57	59	116	24	92	12
杉本	62	51	113	20	93	13
江本	55	57	112	18	94	14
大橋	73	80	153	36	117	15

臨床検査センターの雄 保健科学研究所

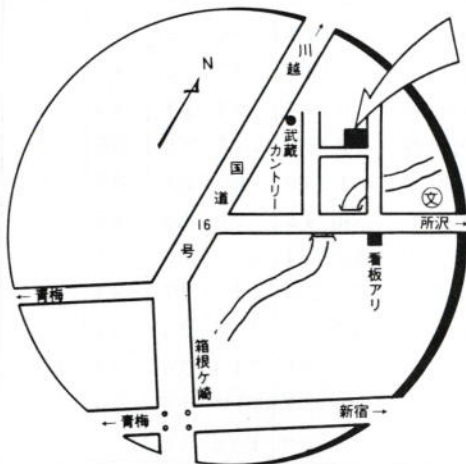
横浜市保土ヶ谷区神戸町106
電話 045 (333) 1661 (大代表)
八王子市子安町3-17
電話 0426 (26) 2203・2204



- 総合臨床検査センターとして20余年間地域医療に貢献し、絶大な信頼を頂いています。
- 完全オンラインシステム化を実現致しました。(データ通信システム)
- 関係医療機関 約 3,500ヶ所
- 広範囲な検査内容
 - 内分沁学検査●免疫学検査●ウイルス検査●生化学検査●血清学検査●血液学検査
 - 病理組織検査●細胞診検査●重金属検査●水質検査
- ― 東京都の御得意先を毎日定期的に集配致します。御一報を御待ち致しています。

期待と信頼にこたえて15年!!

検査のことなら武蔵臨床へ 電話一本緊急検査に応じます
学校、会社の集検にも御利用下さい



埼玉県登録衛生検査所

武蔵臨床検査所

所長 杉田 富徳

埼玉県入間市上藤沢339-1

TEL 0429 (64) 2621(代)